

ディボーション質問表



25日(月) マラキ書 1:1~5 イスラエルに対する神の愛

マラキということばには「私の遣わすもの」という意味があります。しかし、旧約聖書のどの箇所にも彼の名は言及されていません。エズラ、ネヘミヤの時代にユダヤ人がパレスチナに帰還し、国を再建してから100年以上が過ぎ、形式化した礼拝が行われるようになりました。マラキはそこに警告を発しています。

1. ヤコブとエサウに対する神の評価が出てきます。この2人の人物をあなたはどのように考えますか。創世記25:27~34を読んでみて下さい。神は人をどのように見ているのでしょうか？ また、神が人を愛する基準はどこにあると思いますか？
2. 神はここで人の建てたものをうちこわす、という約束をしています。人の歴史のどんな部分にそれを見いだしますか？ また個人の人生の中でもそのような事が起こりえます。あなたの人生に神はどのように介入されたのでしょうか？

26日(火) マラキ書 1:6~14 祭司たちの不敬虔1

1. 礼拝に関して、人が犯す過ちが出てきます。それらのうち、どのような過ちに私たちは陥りやすいでしょうか？ 自分の礼拝態度を吟味してみましょう。
2. 神の前にへりくだるという基本的姿勢はどのように築かれると思いますか？ 神を敬う態度をあなたはどのように表現しているのでしょうか？

27日(水) マラキ書 2:1~9 祭司たちの不敬虔2

1. 神の祝福はのろいへと変えられました。なぜでしょうか？ 旧約の律法にはどのような契約があったか、思いだしてみましょう。今日の恵みの時代、こののろいはどうなっていると思いますか？
2. 5~7節は誰のことに言及していますか？ またこのような人物からあなたが学べることは何でしょうか？

28日(木) マラキ書 2:10~17 間違った結婚と離婚

1. 結婚に対する神の考えはどこにありますか？ 私たちの信仰は、結婚の契約とどんな点で似ているのでしょうか？
2. 17節のような態度は、神を悲しませるものです。「罪人の開き直り」のような態度で神の前に出ていることはありませんか？ また、人にはよく見せながら、実は神を裏切っているようなことはありませんか？ もし、思いついたら神の前に悔い改め、神との関係を再構築しましょう。

29日(金) マラキ書 3:1~5 神のさばきの宣告

1. キリストは旧約のメシヤとしてもこの世に来られました。キリストは人の世界にきよめをもたらすために来られましたが、どのようにそれをもたらしたのでしょうか？ 当時のイスラエル人のメシヤ観とは何が違っていたと思いますか？
2. 神は変わることがないと記されています。神の変わることのない性質は私たちにとってどんな祝福をもたらしていますか？ また、とりわけ主の恵みを受けるものたちはどのような人々でしたか？

30日(土) マラキ書 3:6~18 神に立ち返る道(6~12) 主を恐れる者への約束(13~18)

1. ここに出てくる十分の一のささげものはあなたにとってどんな意味を持ちますか？ また当時のイスラエル人達はこれ以外に何をささげていたのでしょうか？ またこのようなささげものと祝福との関係はどうでしたか？
2. 神へのかたくなさ、という罪が記されていますが、それはどのようなかたちであられましたか？ あなたは神に対してかたくなになったときがありましたか？ また、どのようにしてそこから脱しましたか？
3. 神が最後には審判を下します。この審判は人の生き方にどのような影響を与えるのでしょうか？

7月1日(日) マラキ書 4:1~6 主の日のさばきと救い

1. 千年王国の祝福らしきものが述べられています。この喜びをあなたはどのように実感しますか？ 主の救いを今日、祝いましょう。
2. キリストの来た目的がここに示されています。6節はあなたにとってどんな意義がありますか？ 自分たちの生活の中で、このような瞬間があるのでしょうか？